

地域資源をWEBに残すウィキペディアタウンプロジェクト

団体名●映像ワークショップ合同会社（佐藤ゼミナール2年・新ゼミナール3年）

代表者名●佐藤 将（経済学部経済学科・講師）

はじめに(背景・目的・目標)

調べ物をする際に、どのような内容なのかを調べる時に使うウェブツールとしてインターネットの百科事典とも称されるウィキペディアがあるが、この媒体を通じて地域の情報をウェブ記事として編集し、発信する活動がウィキペディアタウンである。この活動におけるワークショップではウィキペディアの編集技術を身につけるだけでなく、実際に編集する内容の現場の様子を知るフィールドワークも加えた体験型講座となっている。

今年度も昨年度に引き続いて加賀市を拠点としてウィキペディアタウンの活動を行っている映像ワークショップ合同会社とタッグを組んで活動を行った。

活動内容

日程：2025年11月15日(土) 10:30～17:00

場所：加賀市塩屋地区会館

参加：金沢星稜大学：教員2名、学生11名

映像ワークショップ4名

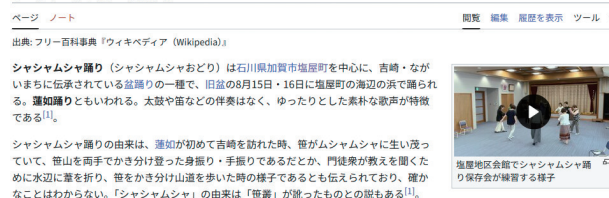
講師2名

内容：昨年度は志賀町で実施したが、今年度は加賀市「地域情報発信講座：ウィキペディアタウン in 加賀 Season3～塩屋町～with かがが」として加賀市塩屋町の塩屋地区会館で実施した。当日行った内容は以下の通りである。午前中は塩屋地区の地域情報のレクチャー、午後はウィキペディア日本語版管理者であるあらいしょうへい氏よりウィキペディア編集のレクチャーを受けた。今回のワークショップでは1つは佐藤ゼミナールの学生を中心に「塩屋町」のページの内容の拡充を、もう1つは新ゼミナールの学生を中心に新規に「シャシャムシャ踊り」のページを作成し、編集作業に取り組んだ。

成果、結果の考察

新規に作成した「シャシャムシャ踊り」において単に複数の資料を基に編集を行っただけでなく、実際の踊りの動画をウィキペディアのページに載せる事ができたのが大きい。こうしたウィキペディアの編集作業を通じて、グループワーク内での役割の明確化の必要性を実感した学生が多かった。今後のグループ活動において効率的な行動指針にもつながったといえる。

シャシャムシャ踊り



作成した「シャシャムシャ踊り」の記事の一部



ウィキペディアタウンでのワークショップの様子

今後の課題、展望

金沢星稜大学として実施したウィキペディアタウンのプロジェクトは2年目に入り、昨年度の志賀町に続き、加賀市塩屋町と石川県内各地で行うことができた。次年度以降もウィキペディア編集のノウハウを学生に身につける(論文作成のノウハウにも活かせるため)、また既存の地域連携活動とうまく連携できるかどうか模索していきたい。他方で、これまで地域連携活動として新ゼミナールの森本商店街での取り組んだ成果をウィキペディア上に新規のページの作成を行い、まとめることができた。今後は情報のさらなる拡充に取り組んでいく。